

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式
① 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

質問件名 もっと本に触れ合うための図書館、学校図書館について

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

主体的な判断力や創造力を育み、知識に触れるうえで図書館は、重要な役割を果たしています。図書館は、こどもから高齢者まで生涯にわたり学びを支える大切な場所であり、読書の機会や環境づくりの保障をしていくことは、情報化時代だからこそ、これからさらに重要になると考えます。また、こどもや若者の読書離れや活字離れが指摘されています。読書や本を通じて物事を調べる習慣を身につけるために学校図書館は、十分にその機能を発揮することが求められています。市では、ブックスタートをはじめとする子育て支援やハンディキャップサービス、ティーンズ委員会の開催、2025年11月には電子図書館がスタートするなど様々な取組をしていますが、貸出数は減少しており、更なる取組が必要と考えます。もっと本に触れ合う機会を創出するために以下質問します。

1. 図書館の蔵書数、購入数が減少している理由についてお示しください。
2. 図書館の利用者数を増やすために、利用者数の少ない喜平図書館と上宿図書館の集会室の開放日を設けてはと考えますが見解を伺います。
3. 子育て世代がゆっくり本に触れ、自分の時間を過ごすための託児付き図書サービスを行うことについて見解を伺います。
4. 駅にブックポストを設置することについて見解を伺います。
5. 電子図書館の利用状況について伺います。
6. 学校図書館を学校教育にどのように生かしているか、授業の中でどのように活用しているかについて伺います。
7. 各学校に学校司書を配置したことでの効果と課題についてお示しください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2026年2月12日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 柴尾ひろみ

受付番号【 】

26	25	24	23